



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東京精密

コード番号 7729 URL <http://www.accretech.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務会社執行役員社長 (氏名) 川村 浩一

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 042-642-1701

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	32,343	37.3	6,225	109.5	6,129	172.1	5,980	150.4
23年3月期第2四半期	23,562	105.3	2,971	—	2,253	—	2,388	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 5,270百万円 (105.7%) 23年3月期第2四半期 2,562百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	145.08	144.91
23年3月期第2四半期	57.94	57.89

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	82,782	—	50,020	—	60.2
23年3月期	77,038	—	44,928	—	58.2

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 49,854百万円 23年3月期 44,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	9.7	8,200	22.8	8,000	32.7	7,800	27.8	189.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4頁「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	41,253,981 株	23年3月期	41,249,481 株
24年3月期2Q	32,085 株	23年3月期	32,018 株
24年3月期2Q	41,217,836 株	23年3月期2Q	41,212,216 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間の内外経済情勢は、緩やかな回復基調を維持したものの、当期後半にかけそのペースは弱まり先行き不透明感が強まりました。欧米経済は、欧州におけるギリシャ債務問題を背景とした金融システム懸念の高まりや米国における失業率の高止まり、物価上昇、個人消費伸び悩みなどにより、景気回復ペースは減速しました。アジア新興国経済は、中国やインドなどで内需を中心に引き続き拡大を続けていますが、中国ではインフレ抑制策に伴う経済減速の兆しが見られました。国内経済は、東日本大震災からの回復過程でサプライチェーン早期復旧による生産活動持ち直しの傾向が見られたものの、電力不足問題や急激な円高などで先行き不透明感が強まっています。

こうした状況下、半導体関連市場においては、消費者向け PC やデジタル家電の低迷に加え、急拡大していたスマートフォンやタブレット PC も当期半ばより一部生産調整の動きがあったことから、半導体メーカーの設備投資は当期半ばより減速しました。一方、計測機器事業の主要ユーザーである自動車関連業界や工作機械業界においては、中国等アジア新興国に加え、大震災からの復旧需要があった国内など市況全般に堅調で、設備投資は内外ともに緩やかな回復を続けています。

このような状況の中で当第 2 四半期連結累計期間の連結業績は、受注高 289 億 18 百万円（前年同期比 4.3%増）、売上高 323 億 43 百万円（前年同期比 37.3%増）、営業利益 62 億 25 百万円（前年同期比 109.5%増）、経常利益 61 億 29 百万円（前年同期比 172.1%増）、当期純利益 59 億 80 百万円（前年同期比 150.4%増）となりました。

当第 2 四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下の通りです。

[半導体製造装置部門]

半導体製造装置部門では、当期前半はスマートフォン、タブレット PC や産業機器、通信インフラ機器などの堅調な需要を背景に半導体メーカー各社の設備投資も活発でしたが、当期後半はスマートフォンやタブレット PC の生産において調整の動きがあったことなどから、半導体メーカーの設備投資も慎重姿勢に転じました。そのため当社の受注も当期前半に比べ後半に減少しましたが、懸念していたサプライチェーン混乱の影響は回避できたため、出荷、売上は順調に推移しました。

この結果、同部門の受注高は 188 億 00 百万円（前年同期比 5.1%減）、売上高は 227 億 56 百万円（前年同期比 36.0%増）、営業利益は 41 億 16 百万円（前年同期比 142.3%増）となりました。

[計測機器部門]

計測機器部門では、主要ユーザーである自動車関連業界や工作機械業界において、中国等アジア新興国主体に市況が堅調に推移、国内でも大震災からの復旧需要も含めて堅調で、設備投資は内外ともに緩やかに回復を続ける一方、航空機や建機、エネルギー産業向けなどの増強にも注力しました。

この結果、同部門の受注高は 101 億 18 百万円（前年同期比 27.6%増）、売上高は 95 億 86 百万円（前年同期比 40.3%増）、営業利益は 21 億 08 百万円（前年同期比 65.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第 2 四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 57 億 44 百万円増加し、827 億 82 百万円となりました。増減の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加 33 億 16 百万円、現金及び預金の増加 17 億 52 百万円、建物及び構築物の増加 21 億 19 百万円、建設仮勘定の減少 9 億 67 百万円等であります。

当第 2 四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ 6 億 52 百万円増加し、327 億 62 百万円となりました。増減の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加 21 億 75 百万円、長期借入金の減少 19 億 44 百万円等であります。

当第2四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べ50億91百万円増加し、500億20百万円となりました。増減の主な要因は、利益剰余金の増加57億67百万円等であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ17億01百万円増加し、179億44百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金は、56億98百万円の増加となりました。これは主に税金等調整前当期純利益60億91百万円、売上債権の増加35億19百万円、仕入債務の増加23億65百万円、減価償却費9億14百万円、たな卸資産の増加6億07百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金は、15億42百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出14億49百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金は、23億03百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の返済による支出19億44百万円等によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の内外経済情勢は、欧州諸国の財政・金融不安の世界的な広がりによる景気低迷の懸念や一層の円高の進展、更には取引先のタイ洪水被害の影響等、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。このような状況の下、平成23年8月12日に公表いたしました通期の連結業績予想につきまして、これまでの原価低減への取り組み等の効果を織り込み、営業利益、経常利益、当期純利益の予想を以下の通り修正いたします。

これに伴いまして、未定とさせていただいておりました期末配当につきましても8円を予定させていただくことといたしました。何卒ご理解のほどお願いいたします。

通期の連結業績予想

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	54,500	7,000	6,600	6,200	150.42 円
今回修正予想（B）	54,500	8,200	8,000	7,800	189.23 円
増減額（B-A）	0	1,200	1,400	1,600	
増減率（%）	-	17.1%	21.2%	25.8%	

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計基準等の改正に伴う会計方針の変更）

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,222	17,974
受取手形及び売掛金	18,796	22,113
商品及び製品	797	1,185
仕掛品	10,546	10,326
原材料及び貯蔵品	2,733	3,100
その他	1,967	2,187
貸倒引当金	△ 245	△ 161
流動資産合計	50,820	56,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,349	9,469
その他（純額）	9,631	8,598
有形固定資産合計	16,981	18,067
無形固定資産		
のれん	1,497	1,330
その他	428	306
無形固定資産合計	1,925	1,637
投資その他の資産		
その他	7,328	6,367
貸倒引当金	△ 16	△ 15
投資その他の資産合計	7,311	6,352
固定資産合計	26,218	26,056
資産合計	77,038	82,782

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,568	13,743
短期借入金	1,300	1,300
未払法人税等	521	358
引当金	660	869
その他	7,142	7,333
流動負債合計	21,192	23,605
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	4,900	3,400
退職給付引当金	2,403	2,280
役員退職慰労引当金	88	94
その他	524	381
固定負債合計	10,916	9,156
負債合計	32,109	32,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,209	10,215
資本剰余金	21,227	21,233
利益剰余金	13,805	19,573
自己株式	△ 108	△ 108
株主資本合計	45,134	50,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△ 17	△ 483
為替換算調整勘定	△ 315	△ 576
その他の包括利益累計額合計	△ 332	△ 1,059
新株予約権	127	165
純資産合計	44,928	50,020
負債純資産合計	77,038	82,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	23,562	32,343
売上原価	16,469	21,473
売上総利益	7,093	10,869
販売費及び一般管理費		
販売費	2,712	3,165
一般管理費	1,410	1,478
販売費及び一般管理費合計	4,122	4,644
営業利益	2,971	6,225
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	28	35
貸倒引当金戻入額	57	90
償却債権取立益	—	271
その他	66	81
営業外収益合計	154	485
営業外費用		
支払利息	283	236
為替差損	559	285
その他	29	58
営業外費用合計	872	580
経常利益	2,253	6,129
特別利益		
土地売却益	872	—
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	872	0
特別損失		
投資有価証券評価損	493	39
特別損失合計	493	39
税金等調整前四半期純利益	2,631	6,091
法人税、住民税及び事業税	211	298
法人税等調整額	32	△187
法人税等合計	243	111
少数株主損益調整前四半期純利益	2,388	5,980
四半期純利益	2,388	5,980

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,388	5,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△ 466
為替換算調整勘定	166	△ 243
その他の包括利益合計	174	△ 709
四半期包括利益	2,562	5,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,562	5,270
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,631	6,091
減価償却費	874	914
のれん償却額	166	166
株式報酬費用	3	51
退職給付引当金の増減額(△は減少)	42	△123
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△31	6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△591	△84
受取利息及び受取配当金	△30	△41
支払利息	283	236
土地売却損益(△は益)	△872	—
投資有価証券評価損益(△は益)	493	39
売上債権の増減額(△は増加)	△3,517	△3,519
たな卸資産の増減額(△は増加)	△802	△607
仕入債務の増減額(△は減少)	3,266	2,365
その他	1,284	689
小計	3,202	6,183
利息及び配当金の受取額	30	41
利息の支払額	△292	△245
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	291	△280
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,232	5,698
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11	△13
定期預金の払戻による収入	11	11
有形固定資産の取得による支出	△69	△1,449
有形固定資産の売却による収入	981	0
無形固定資産の取得による支出	△6	△33
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	1
子会社株式の取得による支出	△14	△7
子会社出資金の取得による支出	—	△29
貸付けによる支出	△21	△23
貸付金の回収による収入	1	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	869	△1,542
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,944	△1,944
リース債務の返済による支出	△154	△152
配当金の支払額	—	△206
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,098	△2,303
現金及び現金同等物に係る換算差額	△127	△152
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,875	1,701
現金及び現金同等物の期首残高	12,027	16,194
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	113	48
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,016	17,944

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	16,730	6,832	23,562	23,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	16,730	6,832	23,562	23,562
セグメント利益	1,699	1,271	2,971	2,971

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

2. 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	22,756	9,586	32,343	32,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	22,756	9,586	32,343	32,343
セグメント利益	4,116	2,108	6,225	6,225

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。